

たていわの
ゆとり空間は
温泉浴型

快適、湯つたりコミュニティ。



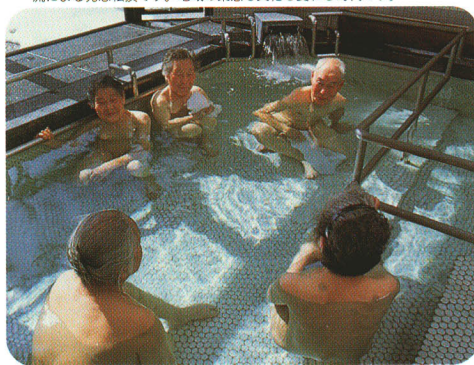
ここはおだやかな温帯気候。落葉のブナの森は明るく草花や昆虫の楽園。野鳥が集いイワナも潜む。山腹のきのこ、沢すじは山菜。木の実も多彩。さあ、温泉浴に飽いたら森林浴へ。魅惑にみちた散策の小径は、ここ日本海側ではちまきのササ群落、太平洋側はスダレで知られるスズタケ群落に包まれています。



春はウグイスの谷渡り。夏は河鹿のつぶやき。秋は枯葉を鳴らす風音。冬は白雪の積もる音。湯煙に抱かれて感じるのは、館石の自然の表情の豊かさです。



モノクロ患者から複合患者へ。温泉浴コミュニティに期待するのは、交流による発想転換です。地域の業態も文化も変わる時代です。



第3世代のやすらぎ空間は昔ながらの温泉の温もり。ディケア・ワークの合言葉は「人生いつもどまん中」です。

＊おもな温泉施設／〈公共施設〉村高齢者生活福祉センター・大宮市少年自然の家（いずれも施設専用）〈開放施設〉湯ノ花温泉共同浴場（湯端の湯・弘法の湯・天神湯・石湯）木賊温泉共同浴場（露天風呂・広瀬の湯）たかつえ温泉（露天風呂しらかばの湯）このほか旅館にもあり
＊湯ノ花温泉テータ／湯岐川の両岸に約三軒の旅館・民宿が建ち並ぶ山峡の温泉郷。四つもあるひなびた風情の共同浴場が人気。館石独特の郷土料理が魅力。泉質は含土類石膏弱塩泉
＊木賊（とくさ）温泉テータ／西根川の清流に約一六軒の旅館・民宿が散在する。清流の音がたち込める河床の露天風呂が名物で混浴。近くに内湯の共同浴場もある。泉質は単純泉
＊たかつえ温泉／ヘルシーバカンス基地たかつえ高原中央に露天風呂しらかばの湯が湧く。泉質は単純泉。冬季は雪が多いためクローズ。宿泊施設は周辺にホテル・ペンション・民宿等四〇軒あり。

湯ノ花や木賊の温泉郷は、会津藩の風土記が物語る南会津で、下郷の湯ノ原（現在の湯野上）と共に、三温泉場に数えられる床しい歴史と民俗を温めています。

湯ノ岐川のほとりに湧く『湯ノ花』のひなびた共同浴場群。弱塩泉で、源泉二万五二二九、温泉郷二五八〇を誇る温泉列島・日本を代表する泉質の仲間です。

武士の隠し湯と伝えられる『木賊』とくさ』の露天風呂。河原石が透けて見える単純泉が、西根川の川床の岩間に湧いています。たかつえの高原に湧き出した露天の『白樺の湯』とともに、食塩泉に次いで多い無色無臭のみごとな単純泉がさわやかです。

ブナが萌えたつ早春、メルヘンの花暦をめぐる春、ヨシキリが水辺の自然度を謳歌する新緑の初夏、涼風が瀬音を戯れる夏、木もれびが紅葉に染まる秋、落葉が滝つぼに舞う晩秋、梢に霧水がきらめく冬。おだやかな気候に恵まれた山懐深く、四季折々の美しい自然の表情を終日眺め、その天然の調べに抱かれながら、溪流の湯の里でのんびりくつろぐだけでもいい。その仙境気分を奥山の冷気が刺激するサツパリした快感が旅情にやさしく、溪流の水しぶきはマイナス・イオンを発生させ気分をよわげるともいいます。それに、アウトドアの多彩なヘルシー・プランは、樹々の精を全身に浴びての森林浴でもあります。

ここ館石の野趣溢れる温泉浴の、天然のクア・ハウスのような環境効果を自覚させません。21世紀は、個性を感じるゆとり空間づくりの時代。他人志向型の画一的な自由時間を打破し、のんびりとリラックスした自分志向型の空間創出が重視される今こそ、わたくしたちは、郷土の恵まれた温泉資源とその環境の新たな価値創造の契機とします。